

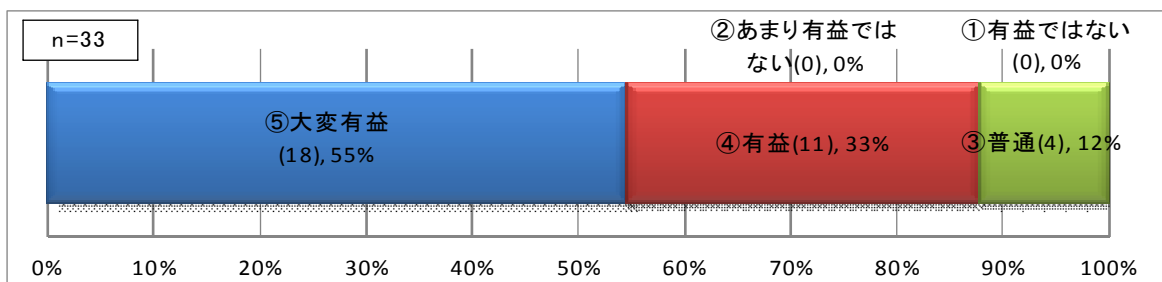
『モノづくり人材の育成・再教育に資する実践的プログラム「金属・材料工学」』  
2013年度 受講者アンケート結果

※アンケート対象者：33名、アンケート回答者：33名

## 1. プログラムの有益性について

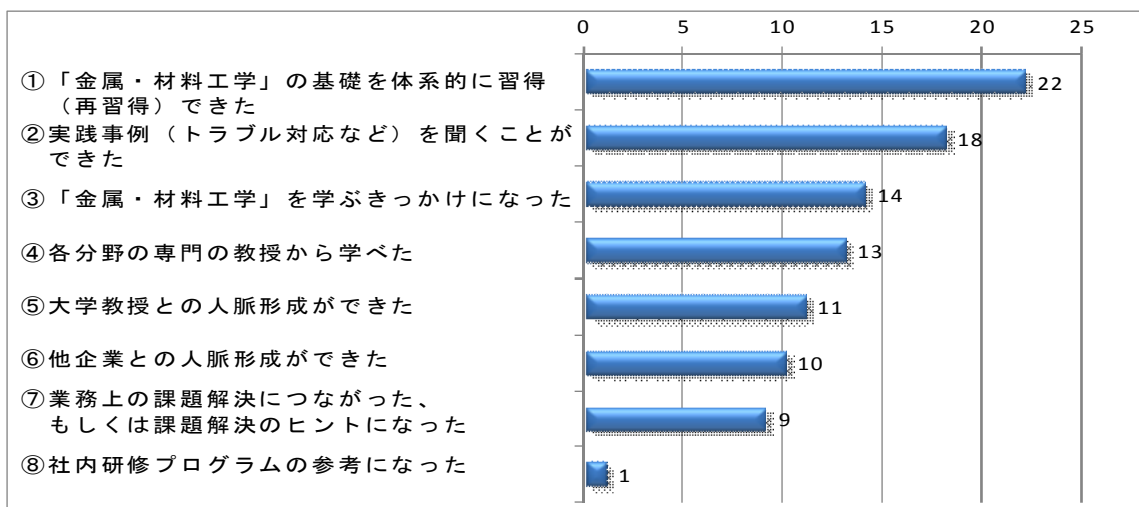
### (1) 講義の有益性

・アンケート回答者の88% (29名) が、「大変有益」(18名)、「有益」(11名) と回答。



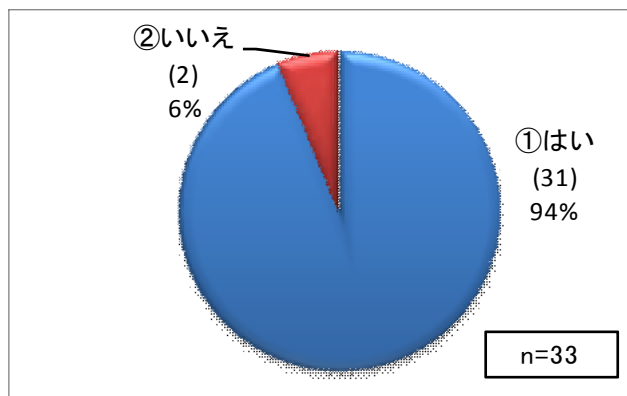
### (2) 有益性のポイント (複数回答)

・「金属・材料工学の基礎を体系的に習得 (再習得)」(22名)、「実践事例 (トラブル対応など) を聞くことができた」(18名)、「金属・材料工学を学ぶきっかけ」(14名) と回答。



## 2. プログラムの受講を会社の同僚や後輩に勧めるか？

- ・ アンケート回答者の 94% (31 名) が、「はい」と回答。



## 3. 2013年度プログラム受講者の声（一部抜粋）

- ・ 金属・材料工学の基礎を体系的に学ぶことができ、一連の基礎知識が得られたことが有益でした。また、その分野における 著名な先生方を知ることが出来たことも、今後の業務においてご協力いただける関係を構築でき非常に有益でした。
- ・ 学生時代は特に専門ではなかったのですが、おかげで講義の内容は難しいながらも大変理解しやすいものでした。資料も今後の学習に繋がる形でまとめられており、財産となります。
- ・ ある程度実務で経験を積んで、業務以外の知識が疎かになりがちなの頃にもう一度勉強するのに最適なプログラムだと思います。講義の内容を業務に関連付けて学習できたので、非常に有意義でした。
- ・ 一つの狭い分野で長年携わっていると視野が狭くなり、広がるきっかけもめったにありません。幅広く受講できたことは非常によかったと感じており、後輩にも受講を薦めるつもりです。自分の力不足もあり理解できた部分とできなかった部分がありますが、講義の終わりに文献を紹介いただけただけなので助かりました。
- ・ 懇親会といった形での受講生同士、または大学教授との懇親を深める場がもうけられていることはとてもよかったと思います。